

消費者教育に関する実態調査（大学生）結果

（令和5年7～8月実施）

n=618（11大学）

あなた自身のことを教えてください。

○性別

	割合
男性	39.2%
女性	59.2%
その他	1.1%

※「答えたくない」0.5%

○年代

	割合
10歳代	51.6%
20歳代	46.1%
30歳代以上	2.3%

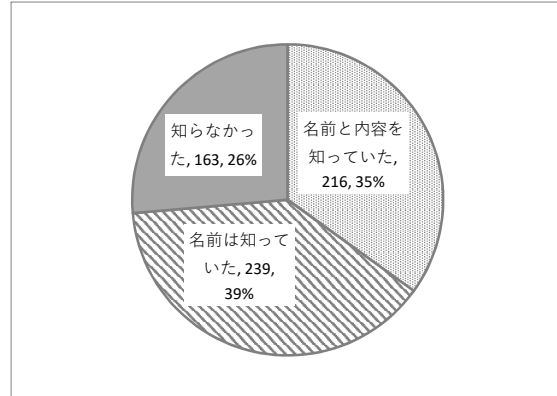
○大学又は居住地が

	割合
両方又は一方が県内	89.6%
両方とも県外	10.4%

Q1 「消費生活相談」に関する組織やサービスを知っていますか。

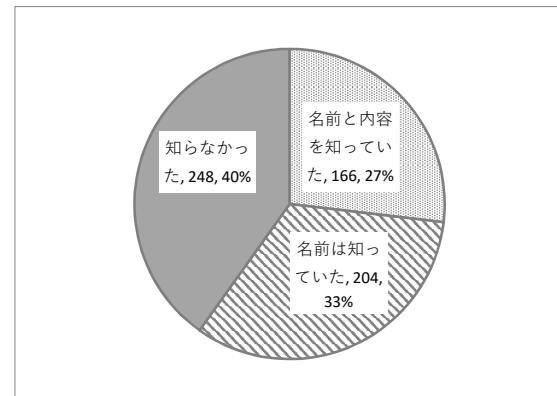
消費生活センターについて

- (1) 名前と内容を知っていた 35.0%
- (2) 名前は知っていた 38.7%
- (3) 知らなかった 26.4%



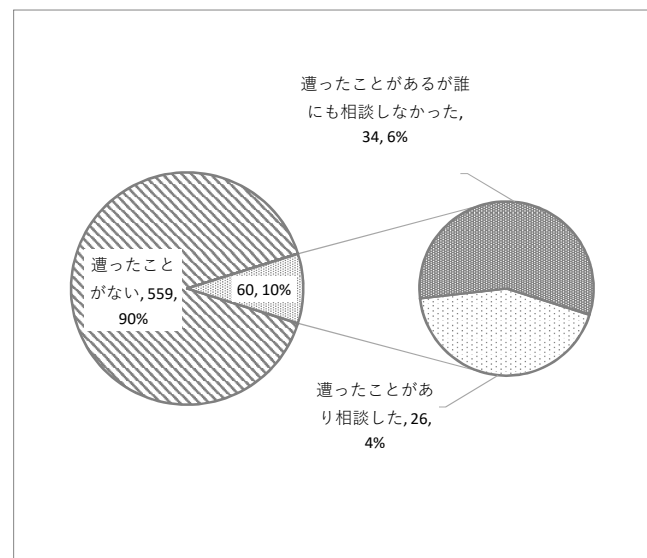
消費者ホットライン188(いやや)について

- (1) 名前と内容を知っていた 26.9%
- (2) 名前は知っていた 33.0%
- (3) 知らなかった 40.1%



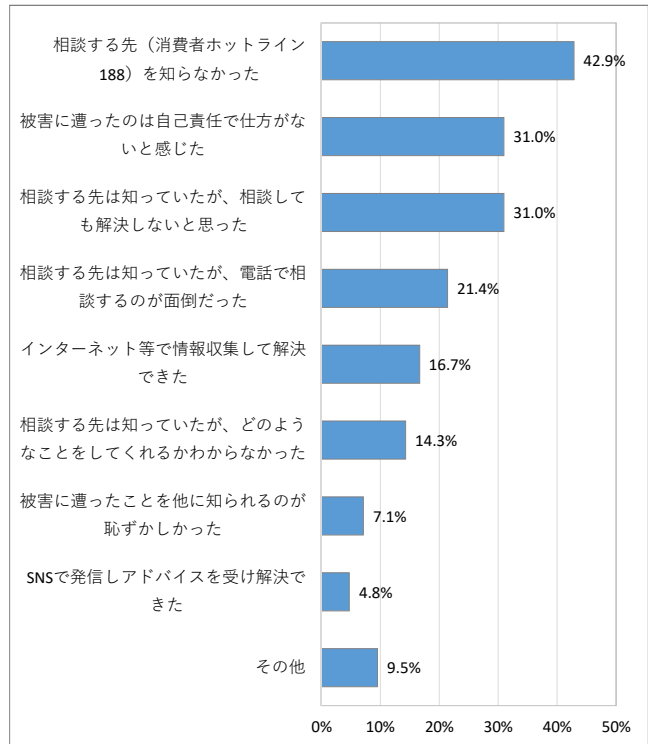
Q2-1 あなたは、購入した商品や利用したサービス等により、身体的・経済的に被害を受けるなどの消費者トラブルに遭ったことはありますか。

- (1) 遭ったことがあるが相談した 4.2%
- (2) 遭ったことがあるが誰にも相談しなかった 5.5%
- (3) 遭ったことがない 90.5%



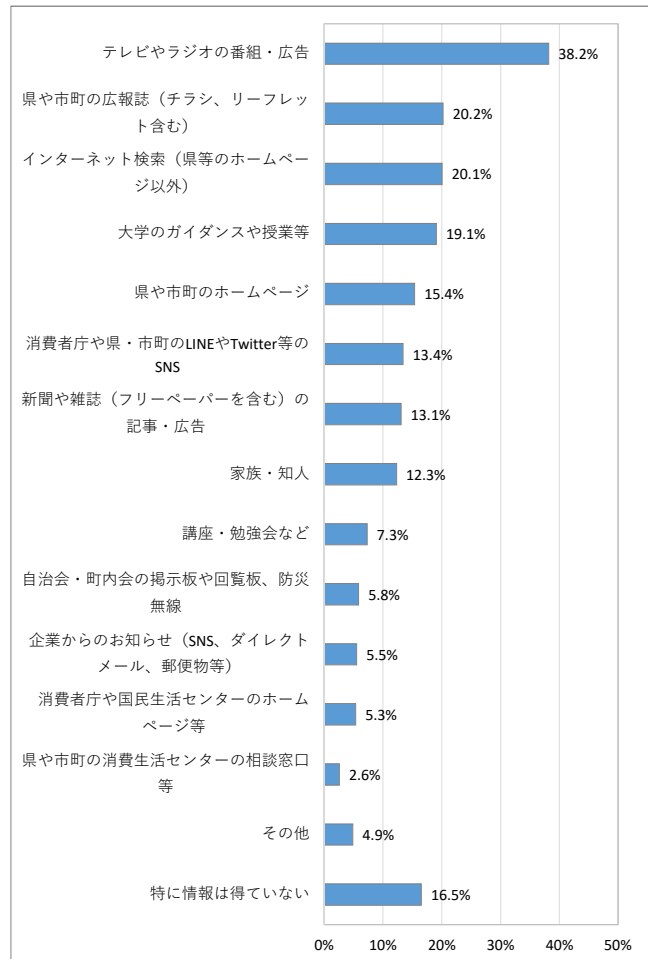
Q2-2 「誰にも相談しなかった」と回答した方へ、その理由をお選びください。

- | | |
|--|-------|
| (1) 相談する先（消費者ホットライン188）を知らなかった | 42.9% |
| (2) 相談する先は知っていたが、電話で相談するのが面倒だった | 21.4% |
| (3) 相談する先は知っていたが、どのようなことをしてくれるかわからなかった | 14.3% |
| (4) 相談する先は知っていたが、相談しても解決しなかった | 31.0% |
| (5) インターネット等で情報収集して解決できた | 16.7% |
| (6) SNSで発信しアドバイスを受け解決できた | 4.8% |
| (7) 被害に遭ったのは自己責任で仕方がないと感じた | 31.0% |
| (8) 被害に遭ったことを他に知られるのが恥ずかしかった | 7.1% |
| (9) その他 | 9.5% |



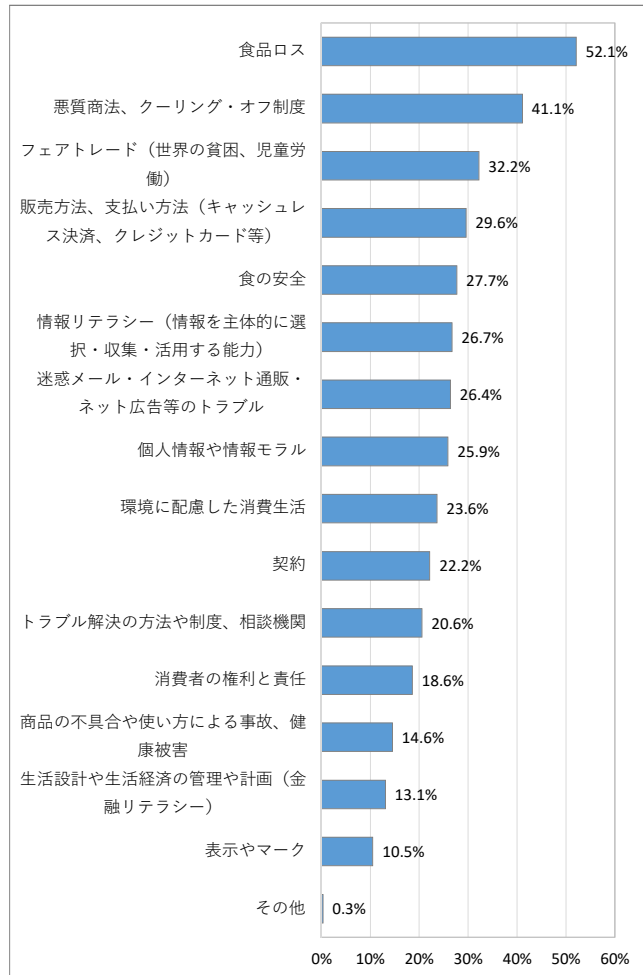
Q3 あなたは、消費者問題に関する相談窓口や法律、制度、解決方法、消費者トラブルの事例などの消費生活に関する情報を、どのようなところで目や耳にしますか。

- | | |
|----------------------------------|-------|
| (1) 県や市町のホームページ | 15.4% |
| (2) 県や市町の広報誌（チラシ、リーフレット含む） | 20.2% |
| (3) 県や市町の消費生活センターの相談窓口等 | 2.6% |
| (4) 消費者庁や国民生活センターのホームページ等 | 5.3% |
| (5) 消費者庁や県・市町のLINEやTwitter等のSNS | 13.4% |
| (6) 自治会・町内会の掲示板や回覧板、防災無線 | 5.8% |
| (7) 企業からのお知らせ（SNS、ダイレクトメール、郵便物等） | 5.5% |
| (8) テレビやラジオの番組・広告 | 38.2% |
| (9) インターネット検索（県等のホームページ以外） | 20.1% |
| (10) 新聞や雑誌（フリーペーパーを含む）の記事・広告 | 13.1% |
| (11) 講座・勉強会など | 7.3% |
| (12) 家族・知人 | 12.3% |
| (13) 大学のガイダンスや授業等 | 19.1% |
| (14) その他 | 4.9% |
| (15) 特に情報は得ていない | 16.5% |



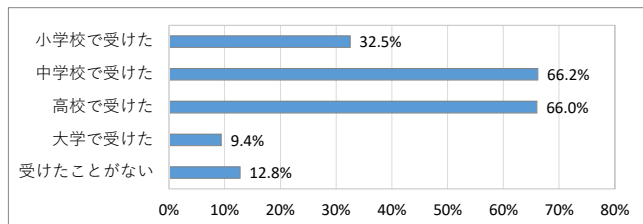
Q4 あなたの関心のある消費者教育のテーマはなんですか。

(1) 環境に配慮した消費生活	23.6%
(2) 食品ロス	52.1%
(3) フェアトレード (世界の貧困、児童労働)	32.2%
(4) 食の安全	27.7%
(5) 商品の不具合や使い方による 事故、健康被害	14.6%
(6) 消費者の権利と責任	18.6%
(7) 表示やマーク	10.5%
(8) 悪質商法、クーリング・オフ 制度	41.1%
(9) 契約	22.2%
(10) 販売方法、支払い方法（キャッ シュレス決済、クレジットカード等）	29.6%
(11) トラブル解決の方法や制度、 相談機関	20.6%
(12) 生活設計や生活経済の管理や 計画（金融リテラシー）	13.1%
(13) 迷惑メール・インターネット 通販・ネット広告等のトラブル	26.4%
(14) 個人情報や情報モラル	25.9%
(15) 情報リテラシー（情報を主体 的に選択・収集・活用する能力）	26.7%
(16) その他	0.3%



Q5 消費者教育を受けたことがありますか。

(1) 小学校で受けた	32.5%
(2) 中学校で受けた	66.2%
(3) 高校で受けた	66.0%
(4) 大学で受けた	9.4%
(5) 受けたことがない	12.8%



Q6 大学生への消費者教育を推進するために、行政（都道府県）の取組みとして望むことは何ですか。

(1) 消費生活に関する講座や研修会等の開催	26.2%
(2) 教材の作成・配布	25.2%
(3) 教材の貸し出し、資材（啓発グッズ等）の提供	10.0%
(4) 大学内外での啓発活動など、 大学生自らが企画できる機会の提供	22.5%
(5) 消費者教育の活動拠点となる 場の提供	8.6%
(6) タイムリーな情報提供	54.4%
(7) 消費者・事業者・行政が相互に 意見を交換できる機会づくり	10.4%
(8) 消費者教育に取り組む団体、 グループとの連携支援	12.5%
(9) 消費者教育アドバイザー等 の紹介	7.0%
(10) その他	0.6%
(11) 特になし	7.6%

